

各位様

小石弘和後援会
＝ 新年のご挨拶 ＝
ご報告と今後の議会活動

新年を迎え、皆様方には益々ご繁栄 ご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

昨年(2023年)の11月17日に行われました「鳥栖市議会議員選挙」におきましては、皆さまのご支持・ご支援によりまして **小石弘和** さんが見事に4期目の当選を果たすことができました。これも偏に皆さま方のご尽力の賜物と、本人ともども深く感謝いたしております。

また、鳥栖市議会議員として4期目を迎えた小石弘和さんはこのたび同僚議員たちの推奨により「**副議長**」となり、いよいよ活躍の場を広げ皆様のお役に立てる立場ともなりました。

小石議員は、長年の議会活動の中で、行政運営・行政支出の諸問題。生活道路や通勤・通学道路の整備など日々の生活に関わる問題。いじめ問題や学校給食など教育現場の問題をとりあげ、市内の小中学校を訪問して、学校現場の校長・教頭はじめ先生方、ご父兄のお話を伺い、老朽化して危険な校舎・校庭の改善、学校周辺の安全確保など、児童・生徒の安全に関わる問題を解決し、また特別支援学級がかかえる多くの問題にも取り組んでおります。今後も教育・福祉・安全その他身近な問題について、皆様のご意見・ご要望をいただきましたなら、ただちに議会に提言し、行政に反映させて参ります。

また、小石弘和さんが一期目から取り組んできました「国史跡勝尾城筑紫氏遺跡」についても、いよいよ「整備計画」の段階に入り、今後は整備・活用について、さらに小石さんの活躍が求められております。

当選後初の12月議会では、副議長として公正な議会運営に取り組み、是は是、非は非として、行政が提案する施策の良いものには率先して協力し、政策への疑問には堂々と意見を述べる立場を示しました。

私たちの鳥栖市は人口も7万人を超え、全国でもまれな発展をしております。鳥栖市の将来を見据えながら、行政と連携して、鳥栖市の未来を創造する議会をめざし「**市民の声が届く議会・地域の声に応える行政**」の姿勢を貫く小石弘和さんへのご支援・ご鞭撻を、小石弘和 本人になり代わりまして、今後ともよろしくお願い致します。 敬 白

平成二十六年 新春吉日

小石弘和後援会会長 梅田克也